

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 035	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 オリーブの農薬登録拡大	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当所管内では地域振興の一環としてオリーブの産地化が進められているが、オリーブアナアキゾウムシによる枯死や炭疽病による収量の低下、カイガラムシ類の発生とそれに伴うすす病の発生などが大きな問題となっている。特に、オリーブアナアキゾウムシは産卵期間が長期に渡りスポット的に防除することが難しい上に、被害も大きく、栽培上の障壁になっている。しかし、オリーブは農薬の登録が少なく、オリーブアナアキゾウムシについても年間4回しか防除できないため、既存の農薬だけでは被害を抑えることは難しい。 そこで、既存農薬の登録拡大を目指し、適応試験を行い、業者に試験成績を開示することで、既存農薬の登録拡大を促してほしい。 オリーブ生産者 43戸	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	神奈川県農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	当県は国内のオリーブ主産地である瀬戸内地域とは栽培、気候条件が大きく異なるゆえ、発生する病害虫も主産地と相違があると思われます。公設機関の主導による農薬登録の取得では予算と人員の関係上、他県と協力して試験を進めることが特に必要ですが、当県固有の病害虫では他県機関との連携が望めないため農薬登録の取得は困難となります。ただし、農薬メーカーに登録を主導していただけるよう、メーカーへの病害虫情報の提供は随時行ってまいります。(対応区分⑦)		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			